

■ 検討課題と対応の方向性



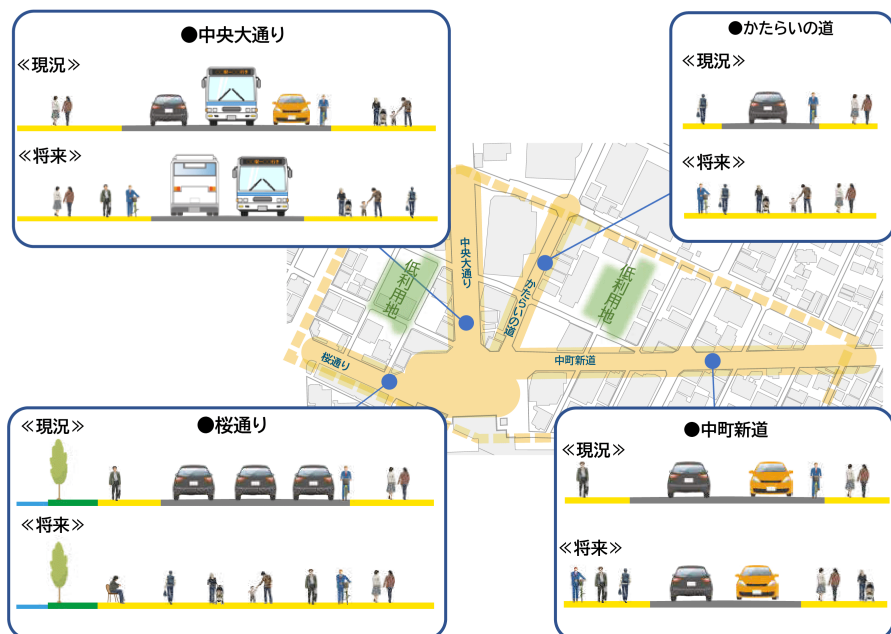
- ・かたらいの道や桜通り、中央大通りに面して出入口を設けた駐車場については、歩行者専用化等を行った場合、アクセスができなくなる。沿道の地権者に意見を聞く必要がある
- ・歩行者優先化なのか、歩行者専用化なのかについて検討することは重要である。道路機能を担保する観点から、都市計画道路の区分も含めて今後は検討すると良い



- ・中町新道における自転車のイラストは、将来でも車道を通行しているイラストの方が想定としては馴染むのではないかと。また、中町新道からロータリーに進入する自転車の通行イメージについても、具体化する必要がある



- ・中央大通りについてバス停や緊急車両等の観点も含めて道路空間の配分を検討した方が良い。方針で示す場合、交通体系の運用ルールと道路断面とのイラストがリンクすると良い

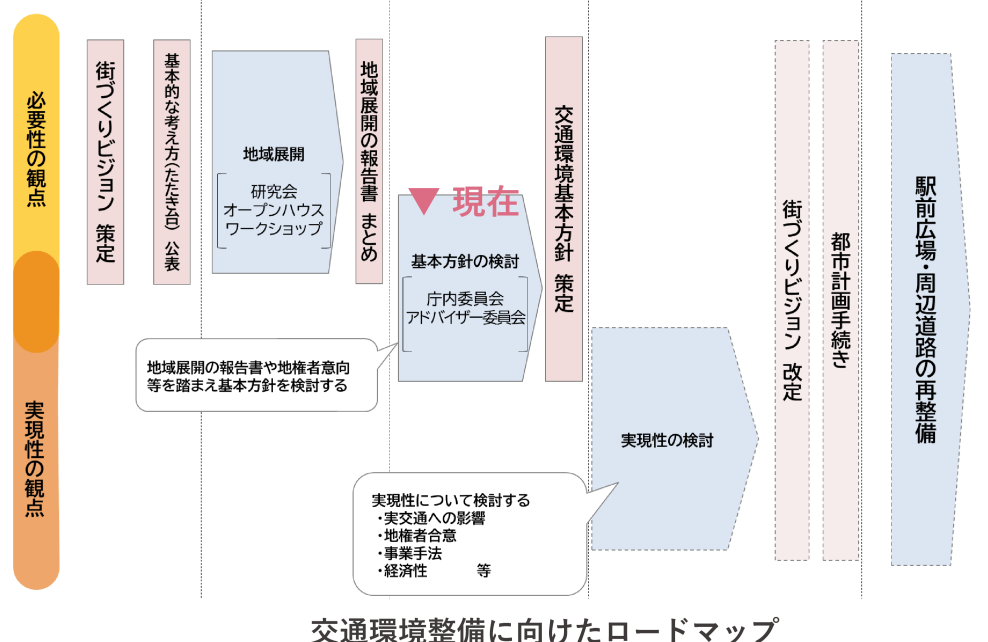


主要道路断面の将来イメージ図 [会議資料 (抜粋)]

■ 今後の進め方

令和5年度は、庁内・アドバイザー委員会を開催しています。地域展開の報告書や地権者のご意向等を踏まえ、一定の実現性を見据えたうえで基本方針を策定する予定です。

その後は、基本方針に基づき、実現性の観点で検討を深め、歩行者を中心とするにぎわいのある駅周辺の再整備を目指していきます。



交通環境整備に向けたロードマップ

これまでの地域展開の取り組みの資料・記録は市のホームページでご覧いただけます

右記の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取っていただき、市ホームページでご覧いただけます。



<https://bit.ly/3lwbB6n>

<問い合わせ>

武蔵野市 都市整備部まちづくり推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28
武蔵野市役所東棟 4 階
電話 0422-60-1872 FAX 0422-51-9250

三鷹駅北口 街づくりニュース

発行：武蔵野市 令和5年9月

第7号

(庁内・アドバイザー委員会号)

庁内委員会・アドバイザー委員会を開催し

“歩行者中心”の交通街づくり

について意見交換を行っています

「三鷹駅北口街づくりビジョン」で描く目指すべき街の姿「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向けた取り組みを進めています。

今後の駅周辺の再整備に向けて、“歩行者中心”の交通街づくりについて地権者の意向を確認しながら庁内・アドバイザー委員会を開催し、検討を進めています。今回は庁内・アドバイザー委員会（令和5年度第1回）での意見交換の内容をご紹介します。

検討プロセス

街づくりビジョン	H29年度
ENJOY OPEN STREETs 武蔵野	R1年度
ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野	R2年度
基本的な考え方	R3年度
研究会（準備会）	R4年度
オープンハウス	R5年度
ワークショップ	
庁内・アドバイザー委員会（令和4年度第1回）	
研究会	
地権者の意向確認	今ココ
庁内・アドバイザー委員会（令和5年度第1回）	
庁内・アドバイザー委員会	
パブリックコメントオープンハウス	
庁内・アドバイザー委員会	
交通環境基本方針の策定	

具体的検討

再整備へ

補助幹線道路の完成
歩行者中心の駅周辺

ここでは、これまでとこれからの取り組みを紹介します。これからの取り組みでは「三鷹駅北口交通環境基本方針」の策定に向けた考え方（以下「基本的な考え方」）に示す、交通環境の課題とその解決に向けた4つの考え方をたたき台として、検討を進めていきます。



これまでの取り組み

■ 三鷹駅北口街づくりビジョン

概ね10年後の将来の目指すべき街の姿を描き、交通環境、土地利用、緑・にぎわいの3つの視点で実現に向けた取り組みを定めました。



■ ENJOY OPEN STREETs 武蔵野

地域の企業や団体と連携し、かたらいの道、桜通り等の公共空間を、車両通行止めにし、歩行者中心のにぎわいエリアとする社会実験を行いました。



■ ワークショップ

市民の皆さまから参加者を募り、グループワーク形式で参加者同士が意見交換を行いました。



■ ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野

沿道店舗と協力し、歩道上に客席を設置することで、日常的に街なかでの食事や、ちょっとした休憩ができるような、滞留空間をつくり出す社会実験を行いました。令和5年度も実施する予定です。

■ オープンハウス

地域のイベントに合わせてブースを出展し、パネルによる「基本的な考え方」の情報発信や意見収集を行いました。



■ 関係団体による研究会

三鷹駅北口に関係の深い団体と計5回にわたり意見交換を行い、その記録を報告書として取りまとめました。



これからの取り組み

■ 地権者の意向確認

アンケートや個別訪問により、駅前広場周辺の地権者の交通街づくりに対するご意向を確認しています。

■ 庁内・アドバイザー委員会

地域展開の報告書や地権者のご意向等を踏まえ、学識経験者からの助言やパブリックコメント等による市民の皆様の意見を踏まえながら交通環境基本方針を検討します。

庁内・アドバイザー委員会（令和5年度第1回）を開催しました（中面）

三鷹駅北口交通環境基本方針策定庁内委員会・アドバイザー委員会合同会議（令和5年度第1回）を開催しました

都市交通計画等を専門分野とする学識経験者より専門的な見地から助言をいただきながら、基本方針について検討を行いました。

今回は「交通環境の将来イメージ」、「駅前広場のイメージ案の比較（拡張の方向性、事業手法等）」と「検討課題と対応の方向性」の3つのテーマで意見交換をしました。



日時：令和5年7月11日（火） 14～16時
場所：武蔵野市役所

▼会議次第

- (1) はじめに
- (2) 委員会の主旨説明
- (3) 令和4年度の取り組み・前回会議（令和4年度第1回）の振り返り
- (4) 交通環境基本方針 骨子イメージ
- (5) 方針の検討・検討課題と対応の方向性
- (6) その他連絡事項

▼会議資料（抜粋）



■ 交通環境の将来イメージ

将来イメージとして、三鷹駅北口を「歩行者を中心とするにぎわいのエリア」としていくために、駅周辺の地域資源・特徴を活かしながら、「交通結節機能の確保」と「歩行・滞留空間の向上」の双方を目指していく考え方について共存という表現や、バランスの見極めなどの論点で意見交換しました。

■ 駅前広場のイメージ案の比較

論点がわかりやすい6つのイメージ案〔デッキ案、2ロータリー案（現状面積案・小規模用地拡張案・広範囲用地拡張案）〕を用いて、必要性（方針・求められる機能）について意見交換しました。そのうえで、参考として今後の検討事項である、実現性の課題（実交通への影響、地権者合意、事業手法等）、実施時の効果・影響等について共有しました。

駅前広場の方針検討					
【駅前広場のイメージ案の比較】					
	現状	デッキ案	2ロータリー案（現状面積案）	2ロータリー案（小規模用地拡張案）	2ロータリー案（広範囲用地拡張案）
①交通結節機能の確保	×	×	○	○	○
②歩行・滞留環境の向上	×	○	○	○	○
③交通利便性の向上	×	×	×	×	×
④駅周辺の地域資源・特徴の活用	△	△	×	×	△
⑤交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑥交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑦交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑧交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑨交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑩交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑪交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑫交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑬交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑭交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑮交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑯交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑰交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑱交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑲交通利便性の向上	△	△	×	×	△
⑳交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉑交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉒交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉓交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉔交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉕交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉖交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉗交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉘交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉙交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉚交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉛交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉜交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉝交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉞交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㉟交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊱交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊲交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊳交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊴交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊵交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊶交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊷交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊸交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊹交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊺交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊻交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊼交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊽交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊾交通利便性の向上	△	△	×	×	△
㊿交通利便性の向上	△	△	×	×	△

■ 検討課題と対応の方向性

駅前広場や周辺道路、交通関連施設、地域の景観・文化資源等について、主な検討課題とその対応の方向性（案）について意見交換しました。例えば駅前広場における、福祉車両の乗降環境の確保について、停めやすく乗り降りに焦らず時間をとれるような安全安心な乗降環境に配慮のうえ、利用者と協議検討していくことを確認しました。

■ 方針の検討

交通環境の将来イメージ



- ・再整備の目標年次である 2030 年代までに自動車の通過交通をどの程度減らすか等、具体的な数値目標を設定した方が良い
- ・「交通結節機能の確保」と「歩行・滞留環境の向上」のバランスを見極めることが必要であり、後者を重要視すべきではないか。人や車の交通だけではなく、滞留空間も具体的に検討した方が良い



- ・現状の課題を地区全体でどのように解決していくかについて言及すると良い。例えば、駅前広場の拡張に係る事業手法について、民地部分を含めた地区全体に課題があれば、駅前広場単体で考えるのではなく、地区全体の課題解決に資する事業手法を検討すべきである



- ・「交通結節機能の確保」と「歩行・滞留環境の向上」の関係性について、「共存」という言葉が用いられているが、市民の誤解を招かないようなわかりやすい表現にすると良い



- ・「駅周辺の観光資源」について、三鷹駅北口が持つ経済的なポテンシャルや民間の文化資源等、街の魅力を高める要素を追記すると良い。人々の活動に直結するような地域資源について考慮することは今後の地域関係者との合意形成を図るうえで重要である

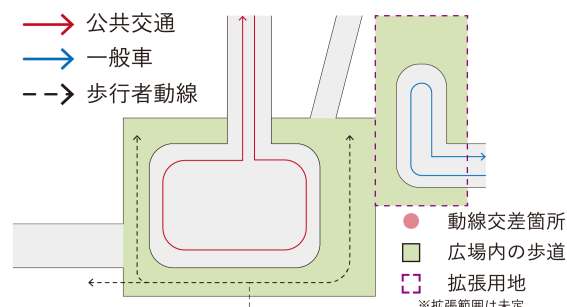
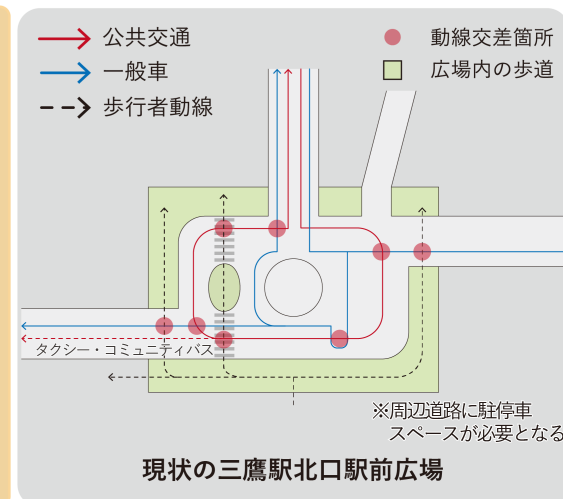
駅前広場のイメージ案の比較（拡張の方向性、事業手法等）



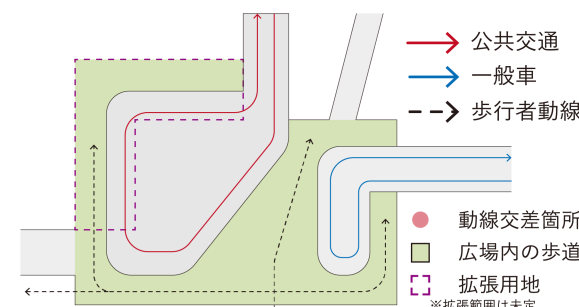
- ・駅前広場の拡張の必要性について、平常時だけでなく災害時や混雑時等、様々な観点から客観的に必要な面積を算出して検討すると良い。ただ、現状の課題を解決するためだけでなく、どのような滞留空間を目指すのか将来イメージを持って拡張の必要性について言及すべきである
- ・事業手法については街路事業や拡張用地の周辺も含めた再開発等が考えられるが、前者は地権者の協力を伴うもの、後者は地権者の参加によるものといった視点で整理すると良い
- ・E 案と F 案を組み合わせた最大面積まで拡張した場合の案があっても良いのではないか。また、駅前広場に必要機能や面積の検討だけではなく、拡張した面積の中でどのようなアクティビティができるのか検討することも重要である



- ・若者からお年寄りまで滞留の仕方は様々であり、滞留空間のイメージを示すことは重要である
- ・イベント時の滞留空間だけではなく、日常における暮らしの場としての滞留空間のイメージも重要である
- ・駅舎側に滞留空間を大きく確保する案も考えられる。位置によっては滞留の仕方も変わるため、滞留空間の位置を検討すると良い
- ・滞留空間について行政が達成できる目標以外は、地域に協力してもらおうと良い。また、駅前で市民の方に実際に椅子に座ってもらい、空間の居心地の良し悪しを感じてもらおう等、実験的にワークショップを行っても良いかもしれない



E 案（広範囲用地拡張案 北東側）



F 案（広範囲用地拡張案 西側）

駅前広場の方針検討で示した現状とイメージ案〔2ロータリー案（広範囲用地拡張案（北東側・西側））〕
〔会議資料（抜粋）〕



- ・駅前広場では乗り換え等の短時間の滞留から人々が憩う等の長時間の滞留まで様々な滞留空間の使われ方があるため、そのイメージを示せると良い



- ・滞留空間について、止まった使われ方だけに着目するのではなく、利用形態の時間的変化を人の流れ方も踏まえて考慮する必要がある。また、鉄道に親しみを持てる空間や滞留の仕方に多様性を読み取れるようなイラストがあると良い
- ・補助幹線道路と中町新道に囲まれた地区について、ショートカットを目的とした一般車両の枝道への抜け道利用が懸念されるため、安全対策や交通規制等の対応を検討する必要がある
- ・北口の交通体系の再編は広範囲に影響するため、周辺住民、地域関係者だけではなく、さらに広域の市民や市外の道路利用者等を含め、様々な視点に立って影響内容とその度合いを見極めながら検討することが求められる